

相模川流域下水道全体計画

令和2年

神奈川県

1 整備の目的

相模川流域の生活環境の改善、公共用水域及び水道水源の水質保全を目的として下水道整備を実施します。

2 計画目標年次（上段（）は旧計画）

（平成 42 年度）

令和 12 年度

3 整備方針（上段（）は旧計画）

処理区	関係市町	排除方式	計画処理区域 (単位：ha)	計画処理人口 (単位：人)	計画汚水量 (単位：m ³ /日) (日最大)
左岸	相模原市、平塚市、 藤沢市、茅ヶ崎市、 海老名市、座間市、 綾瀬市、寒川町	分流式 〔一部合流式〕	(約 18,728) 約 18,524	(約 126.5 万) 約 126.0 万	(約 57.4 万) 約 56.7 万
右岸	平塚市、厚木市、 伊勢原市、大磯町、 愛川町	分流式 〔一部合流式〕	(約 11,869) 約 11,674	(約 57.7 万) 約 53.7 万	(約 35.9 万) 約 33.9 万
合計			(約 30,597) 約 30,199	(約 184.1 万) 約 179.7 万	(約 93.3 万) 約 90.5 万

4 処理場施設（上段（）は旧計画）

(1) 水処理施設

名称	位置	処理方法	処理能力 (単位：m ³ /日)	処理系列数	放流先	計画処理水質 (単位：mg/ℓ)
左岸処理場	茅ヶ崎市	標準活性 汚泥法	約 53.9 万	9 系列	相模湾	BOD 15
右岸処理場	平塚市	標準活性 汚泥法 +急速ろ過法	約 39.4 万	7 系列	鹿見堂排水路 〔相模川〕	BOD 10
合計			約 93.3 万	16 系列		

(2) 汚泥処理施設

名称	処理施設	計画処理汚泥量 (単位：t/日)
左岸処理場	濃縮施設、脱水施設、焼却施設等 ※1	(約 121) 約 119 ※2
右岸処理場	濃縮施設、脱水施設、焼却施設等 ※1	(約 75) 約 71 ※2
汚泥貯留地	貯留施設、再利用施設	(約 9.9 万) 約 9.9 万 ※3

※1 この他、汚泥のエネルギー資源化（炭化等）を検討します。

※2 計画処理汚泥量(固形物 t/日) = 計画汚水量(m³/日) × 計画流入 SS 濃度(mg/ℓ) × 10⁻⁶

※3 貯留量（これまでの貯留実績：固形物量 t）

5 管 渠（上段（ ）は旧計画）

処理区 の 名称	幹 線 名	位 置		管 径 (mm)	延 長 (m)
		起 点	終 点		
左 岸 処 理 区	相 模 川 左 岸 幹 線	茅ヶ崎市	相模原市	200～4,000	(58,060) 58,180
	座 間 海 老 名 幹 線	海老名市	相模原市	2,000～2,600	11,520
	綾 瀬 寒 川 幹 線	寒川町	綾瀬市	1,100～1,500	7,110
	藤 沢 寒 川 幹 線	寒川町	藤沢市	800～1,350	7,360
	茅 ヶ 崎 幹 線	茅ヶ崎市	茅ヶ崎市	1,650～2,200	3,980
	戸 沢 幹 線	厚木市	海老名市	600	1,440
	放 流 幹 線	茅ヶ崎市	茅ヶ崎市	2,000×4 ～5,950×2	130
	寒 川 平 塚 幹 線	平塚市	寒川町	(1,800) 2,000	1,470
右 岸 処 理 区	相 模 川 右 岸 幹 線	平塚市	愛川町	700～3,200	22,700
	伊 勢 原 厚 木 幹 線	厚木市	伊勢原市	1,000～1,350	1,650
	第二伊勢原厚木幹線	厚木市	厚木市	1,350	1,270
	平 塚 幹 線	平塚市	平塚市	1,800～2,400	3,030
	大 磯 平 塚 幹 線	平塚市	大磯町	1,100～1,650	9,310

6 ポンプ施設

ポンプ施設の名称	処理区 の 名称	位 置	敷地面積 (ha)
門 沢 橋 ポ ン プ 場	左 岸 処 理 区	海老名市	0.09
東 豊 田 ポ ン プ 場	右 岸 処 理 区	平塚市	0.30
戸 田 ポ ン プ 場	右 岸 処 理 区	厚木市	0.10
太 井 ポ ン プ 場	左 岸 処 理 区	相模原市	0.46
寸 沢 嵐 ポ ン プ 場	左 岸 処 理 区	相模原市	0.09
千 木 良 ポ ン プ 場	左 岸 処 理 区	相模原市	0.05
与 瀬 ポ ン プ 場	左 岸 処 理 区	相模原市	0.05
吉 野 ポ ン プ 場	左 岸 処 理 区	相模原市	0.11

7 その他

計画処理区域、処理場施設等の配置については、概要図を参照してください。

相模川流域下水道全体計画概要図

